

特定非営利活動法人日本火星協会 設立趣旨書

1. 設立の趣旨

地球という小さな惑星で、人類はどこへ向かおうとしているのでしょうか。

人類の無意識の中に潜む好奇心にこそ、その答えがあるのではないのでしょうか？

潜在能力を解き放ち、平和的でより良い文明を築くため、宇宙へ活動の領域を広げて行くことが必要です。

まさに今、機が熟しています。

世界の仲間達と協働して真の人類平和実現のために、太陽系の中で地球に最も近い火星に到達して人類の生活圏構築の技術を成熟させ、そしてさらなる宇宙へ拡大してゆくことは、人類の歴史的な行動となります。まずは火星へ行く準備を始めましょう！

<火星へ行く理由>

・人類の生活圏の拡大による新しいフロンティアへの挑戦

(人類が火星の地を踏むこと、それを試みることで、新しい冒険の時代が始まります。広大な宇宙への扉を開くものになるでしょう。)

(火星で暮らす知恵は、地球を知り、地球での暮らしを快適にすることにも繋がります。)

(多くの子どもや若者たちの夢と希望そして前進し続ける気持ちを鼓舞することが出来るでしょう。なぜ生まれたのか、生きる意味と次世代へ繋ぐことの大切さを・・・)

・持続的な経済・科学技術の発展

(地球だけに閉じられていた空間が、無限に広がる空間へ繋がることで人口が増えることは、もはや障害ではなく、希望となります。今の私たちが思いもつかない大規模かつ革新的な経済や科学技術の発展が期待できます。)

・新しい文化・芸術・スポーツの創造

(宇宙空間を自由に行き来できるようになった時、人類は、様々な環境条件の中でくらすための新しい楽しみを創造することでしょう。それがどのようなものになるのか？早く知りたくてわくわくしています。すでにその試みをしている人たちがいます。)

・人類同士の紛争や戦争のない平和な世界の実現を推進

(戦争によって経済等の発展が望める時代は、終わったと考えています。新しいフロンティアへ向けて各々のグループの知識を総動員した発展的競争こそが人類の未来を切り開くと考えます。)

(大いなる発展への挑戦は、世界が団結することでしか成し遂げることが出来ません。火星に人類が降り立つことがその第一歩となります。平和と団結を！)

<なになをなすか>

1. 火星に行くことの意義とそのために行われている活動を広く情報発信します。
2. 火星へ行くため、そして火星及び宇宙でくらすための知識、科学、工業技術の収集と開発の促進をします。
3. 上記の活動から生まれたアイデアや技術の活用研究による宇宙産業の創出及び活性化を推進します。
4. 国内外の科学技術および文化・芸術・スポーツの活用・応用を図ります。
5. こどもや若者たちへの宇宙や火星、有人宇宙活動などに関する教育活動を行います。

2. 設立の経緯

日本火星協会は、1998年8月アメリカの火星協会がNPO法人として発足した際、出席していた日本人のグループによって任意団体として立ち上げられました。その後、ホームページによる広報活動を通して、2015年1月現在、約18名の賛同者を得ています。

最近になってオランダの Mars One やアメリカの Inspiration Mars 等有人火星探査が現実味を帯びてきた背景もあり、賛同者の中から、活動を活性化するために法人化するべきだとの声が寄せられるようになってきました。そして、2015年2月に中心メンバーでNPO法人化の準備を開始し、2015年7月4日に設立総会を開催し、発起人より設立の趣旨、定款、会費および財産、2015年度および2016年度の事業計画、収支予算、役員の名簿を提案し、審議の上決定することで、特定非営利活動法人日本火星協会の設立を目指すこととなったものです。



映画「オデッセイ」のワンシーンより (Credit: 20th Century Fox)